

スポーツ連盟とやま

富山ウォーキングクラブニュース

第127号 (2019年 9月1日) 【発行責任者: 寺山秀行】

9月例会-1

親不知コミュニティロードを歩き親不知(天下の陰)へ

8月号をご覧ください

9月例会-2

家持が、義経が、芭蕉が 歩いた、見た、詠んだ

こしのくに 松田江の浜、雨晴 国府ウォーク



【実施日】2019年9月27日(金)

【集合】JR 氷見線島尾駅 9時06分 (島尾駅トイレあり、駐車場なし)

交通手段 あいの風 富山 8:05⇒小杉 8:16⇒高岡 8:30

JR 氷見線 高岡 8:40⇒伏木 8:53⇒島尾
9:06

※車の方 伏木駅前の無料駐車場に止め 氷見線で 伏木駅で乗車し島尾で下車。

【行程】JR 島尾→島尾海浜公園(松田江の浜)→道の駅「雨晴」→紅葉姫公園→岩崎の鼻灯台→伏木高校→越中国分寺跡→御亭角廃寺→JR 伏木
歩行数 14,000歩 約3時間

【昼食】多古爺 (ラーメン、豚丼など) 氷見市窪3283-4



伏木駅より車に相乗り 希望者

【装備】雨具、飲料、ストック

【参加費】会員 200 円 一般 500 円

【申込・問合せ】9 月 24 日(火)まで

亀谷さん ☎か fax 0766-82-3715 SNS 090-9447-8259

危険な暑さを避け 涼をもとめて

梅池自然園ウオーキング

連日の命にかかわると言われる暑さの中、8 月 9 日 5 名で梅池自然園へウオーク。7 時薬勝寺公園駐車場を出発し卓抜なドライビングのおかげで予定よりも 30 分も早く歩き始める。

まずは、園内に生育しているイワナが見えると言う“ミズバショウ湿原”（標高 1860m）。起伏のないコースでバリアフリー木道である。本州で最遅咲き（7 月上旬）のミズバショウとのことであったが、もう遅く大きな葉っぱと種でちょっと意外な姿であった。

すると、図鑑を片手に草花を観察している自然観察員の腕章の方が居てその後について歩



自然解説員（？）から説明してもら

いて詳しい的確な説明を受けることができた。

少し足を延ばして“ワタスゲ湿原”（標高 1870m）。キヌガサソウも花の季節は終わり実を見た。ワタスゲソウも風に揺れている。池塘も

感想

ありモウセンゴケが。

ワタスゲ湿原を出て、楠川を越えるとアップダウンが大きくなり山道で登坂を頑張って歩いたら“浮嶋湿原”（標高 1920m）である。湿原中央に小さな池があり丸い浮島がありそれがこの湿原の名前の由来だそうだ。また園内随一の撮影スポットとのことですが本日はあいにくでした。ここでランチとしました。

浮島湿原を反時計回りに回り、冷たい北アルプスからの水を飲む銀名水

（適量であれば飲料可とのこと）ここからは登坂となり

フーフ言いながら登る。自然園の全景を見渡せるポイントである。急な木道を登り“展望湿原”（標高 2010m）で白馬大雪渓、白馬岳、杓子岳が間近に望めるとのことだったが今日は残念ながらガスが懸かっており

大雪渓だけが望めた。少し行くと園内の最高地点（標高 2020m）の展望台に着いた。そこからの痩せ尾根の下りには真新しい階段状の木道が整備されており不安なく降りることができた。遥か下方に雁股（かりまた）池、梅池が見える。浮島湿原に戻り記念撮影。

この地域のオオシラビソは昔から「つがの木」と呼ばれており自然園全体を池になぞらえて



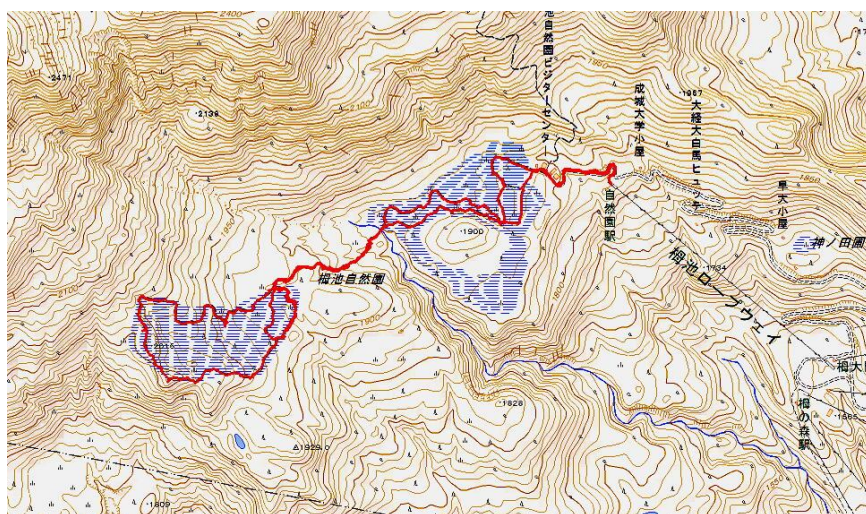
クルマユリ

「梅池」となったと言われている。そしてそのオシラビソの青紫色の球果(マツボックリ)を確認しました。

帰りもノンストップで一走り 18 時 30 分着酷暑を超えた暑さの中で、すべてが快適な1日でした。参加は、東さん、甲さん、亀谷さん、林さん、寺山でした。【記：寺山】



浮島湿原に



今回歩いたコース

海外ウォーキングに出かけませんか

全国ウォーキング協議会主催の海外ウォーキングの案内が届きました
案内のチラシをコピーしてこの会報に同封しました。

興味がある方・行って見たい方・質問等が有りましたら寺山さんまでご連絡ください